

(主) 松江鹿島美保関線 七類工区

■事業の目的

松江市美保関町七類の連担地区間を通過する(主)松江鹿島美保関線は、現道の車道幅員が最も狭い箇所では3.5mしかなく、車同士のすれ違いも困難な状況であり、円滑かつ安全な通行が著しく損なわれている状況にあります。

このことから、全体延長710mのバイパス方式の改築工事により、安全かつ円滑な交通確保と沿線住民の安全安心な生活環境の確保を図ります。

また、令和5年度には(主)松江鹿島美保関線 片江2工区及び惣津工区が完成しており、これに加えて終点に当たる七類工区を整備することで、半島地域での往来や利便性が向上し、地域のさらなる活性化に寄与することが期待されます。

■計画の概要

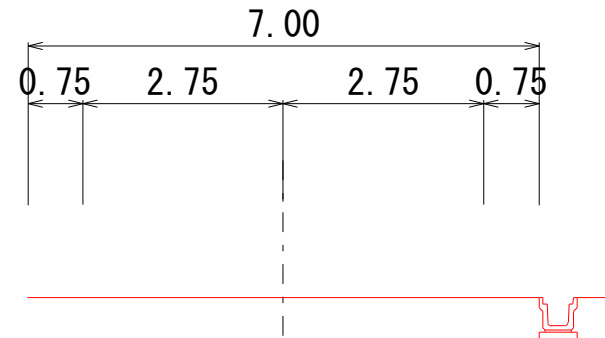
路線名	主要地方道 松江鹿島美保関線	工期	令和4年度～令和10年代前半(予定)
所在地	松江市美保関町七類	道路規格	第3種第4級
事業延長	L=710m	設計速度	40km/h
総事業費	約10億円	道路幅員	車道5.5m(路肩0.75m×2)

【事業箇所】

松江市美保関町七類



【道路幅員構成】



■令和6年度の事業概要
 測量・調査・設計業務
 文化財調査

①



現道の状況

②



現道の状況

③



旧美保関北小学校付近